

## 様式第五十の二（第48条第6項関係）

### 認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

#### 1. 認定の日付

2022年3月29日

#### 2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社日新ウエルネス

#### 3. 認定事業適応計画の実施期間

2022年3月31日～2027年3月31日

#### 4. 認定事業適応計画の実施状況

##### （1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

株式会社日新ウエルネスは、本計画において新型コロナウイルスに端を発する、非接触型社会への変容に対応するため、WEB入会、モバイル会員証入会、ライブレッスン配信システムを導入するなど新たなサービスを提供し、新需要を獲得することとしている。2022年度（2023年3月期）においては、計画通りライブレッスン配信システムを導入した。

##### （2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2022年度はEBITDAマージンが-5.62%となり、基準年度（2021年3月期）のEBITDAマージン-40.87%と比較して、35.25%ポイント改善した。2023年度も、運営効率化と新型コロナウイルス感染症の5類移行を追い風に、会員在籍数の回復が見込まれ、更なる増益とEBITDAマージンの改善が行われる見通し。計画最終年度となる2024年度には、EBITDAマージンが基準年度と比較して55.72%ポイント改善されて14.86%となり、当初の最終目標としていた14.1%を0.76%ポイント上回る見通し。

##### （3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

2022年度は基準年度より業績は改善しているが親会社からの借入金と業績がマイナス収支であるため、有利子負債/CF $\Delta$ 14.3、経常収支比率95.7%となった。有利子負債/CFは $\Delta$ 14.3と10倍以内ではあるが、それはキャッシュフローがマイナスとなっていることに起因しており、来期以降は会費収入の増収によってキャッシュフローが改善する見通し。

##### （4）実施した事業適応計画の内容

2022年度においては、計画通りの投資（2,352千円）を実施。なお、高崎店オンライン配信システムは2021年度（2022年3月）に1カ月前倒しで導入した。笹塚店、上里店、高崎店、羽生店においては店舗間ライブレッスン配信を実施し、通期1,423本、延べ人数5,315名が参加。それによって販管費は削減され、削減率は基準年度比32%（基準年度1,139,703千円、2022年度

1,004,263 千円) となり、最終年度の目標削減率5%以上は達成の見通し。